

32bit Card Bus Ethernet PC Card

32bitカードバス対応イーサネットPCカード

■ LD-10/100CBA 10/100BASE T TX

OSごとの
導入手順フロー

4・5ページ

必ずお読み
ください

取り付ける

Windows 98
で使う

Windows 95
で使う

Windows NT 4.0
で使う

必要に応じて
お読みください

User's Manual

32bitカードバス対応
10/100MbpsイーサネットPCカード

LD-10/100CBA

10/100BASE **T TX**

User's Manual

ユーザーズマニュアル

ご注意

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

■ ■ はじめに ■ ■

この度は、弊社ラニード製品の32bitカードバス対応イーサネットPCカード"LD-10/100CBA"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-10/100CBA"をコンピュータ本体に導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-10/100CBA"を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって、製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警 告



小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業をおこなわないでください。
また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。
けがや感電をしたり、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注 意



本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業をおこなってください。
強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、本製品に触れる前に金属性のもの(スチールデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。また、バッテリーもはずしておいてください。

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)に適合しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受像機等に受信障害を与えることがあります。このマニュアルの説明にしたがって正しくお取り扱いください。

OSごとの導入手順フロー

Windows 98の場合

- 1 パッケージの内容を確認します。
(9ページ)
- 2 ユーザ登録ハガキを記入します。
(11ページ) ※1
- 3 カードバスコントローラが正常に動作していることを確認します。
(15ページ)
その他、事前に確認する項目をチェックします。(15ページ)
- 4 コンピュータの電源を入れた状態で、本製品を取り付けます。(21ページ)
- 5 本製品が自動的に認識され、ドライバのインストールが始まります。
(25ページ) ※2
- 6 必要に応じてサービスなどを設定します。 ※3

Windows 95 OSR2の場合

Windows 95 OSR2かわからないときは確認しておいてください。(13ページ)

- 1 パッケージの内容を確認します。
(9ページ)
- 2 ユーザ登録ハガキを記入します。
(11ページ) ※1
- 3 カードバスコントローラが正常に動作していることを確認します。
(15ページ)
その他、事前に確認する項目をチェックします。(15ページ)
- 4 コンピュータの電源を入れた状態で、本製品を取り付けます。(21ページ)
- 5 本製品が自動的に認識され、ドライバのインストールが始まります。
(30ページ) ※2
- 6 必要に応じてサービスなどを設定します。 ※3

Windows NT4.0の場合

はじめてネットワークを導入するとき

- 1 パッケージの内容を確認します。
(9ページ)
- 2 ユーザ登録ハガキを記入します。
(11ページ) ※1
- 3 取付前に確認すべきことをチェックします。(17ページ)
- 4 本製品を取り付けます。(21ページ)
必ずコンピュータ本体の電源を切っておいてください。
- 5 ドライバをインストールします。
同時にネットワークで利用するサービス等を設定します。(40ページ)

すでに一度ネットワークを導入しているとき

- 1 パッケージの内容を確認します。
(9ページ)
- 2 ユーザ登録ハガキを記入します。
(11ページ) ※1
- 3 取付前に確認すべきことをチェックします。(17ページ)
- 4 本製品を取り付けます。(21ページ)
必ずコンピュータ本体の電源を切っておいてください。
- 5 ドライバをインストールします。
(40ページ)
- 6 必要に応じてサービスを追加します。

NT4.0のシステムと同時にインストールするとき

40ページの **注 意** をお読みください。

※1 ホームページからのオンライン登録ができます。(➡ホームページアドレスはP11)
 ※2 プラグ&プレイでもドライバディスクやWindows 98/95のディスクを挿入する作業が必要なことがあります。
 ※3 このマニュアルの35ページからWindows 98/95のピア・ツー・ピアによるネットワークの設定例を説明しています。参考にしてください。

このマニュアルの表記について

●用語について

本製品 ……LD-10/100CBAのことを、このマニュアルでは、「本製品」と記載しています。

●記号について

記 号	意 味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
↑ ↓	キーボード上のカーソルキーを表わします。
Enter	キーボード上のEnterキーを表わします。
スペース	キーボード上のスペースバーを表わします。
Esc A	その他、キーボード上のキーを表わします。

もくじ

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
OSごとの導入手順フロー	4
このマニュアルの表記について	6
もくじ	7

1. パッケージの内容を確認する	9
2. 製品の保証とユーザ登録	10
製品の保証とサービス	10
ユーザ登録について	11
3. 本製品の概要について	12
本製品の特長	12
動作環境について	13
Windows 95のリビジョンの確認方法	13
4. 各部の名称とはたらき	14
5. セットアップ前に確認してください	15
6. コンピュータ本体への取り付けと取りはずし	21
取り付けの方法	21
取りはずしの方法	22
7. Windows 98でのセットアップ	25
8. Windows 95でのセットアップ	30
ドライバをインストールする	30
9. Windows 98/95でのピア・ツー・ピア環境の設定例	35
10. Windows NT4.0でのセットアップ	40
11. アダプタのプロパティについて	53
Windows 98/95の場合	53
Windows NT4.0の場合	54

もくじ

1 パッケージの内容を確認する

1 パッケージの内容を確認する

1 パッケージの内容を確認する

1 パッケージの内容を確認する



1 パッケージの内容を確認する



1 パッケージの内容を確認する



1 パッケージの内容を確認する



1 パッケージの内容を確認する

1 パッケージの内容を確認する

1 パッケージの内容を確認する

1 パッケージの内容を確認する

製品の保証とサービス

本製品には、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じた、いかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えて、下記修理センターにご依頼ください。

保証期間内

まずは、ラニード・サポートセンターにご連絡ください。

電話番号 03-3444-5571 FAX番号 03-3444-8205
 電話受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)
 ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

保証期間外

東京都八王子市子安町4-19 セキエレクトロニクス株式会社内
 エレコム修理センター
 電話番号 03-5950-4410
 電話受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00
 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)

ユーザ登録について

パッケージの内容が確認できたら、作業をはじめる前に、ユーザ登録カードに必要なことをご記入の上、ご投函ください。なお、ラニード・ホームページからのオンライン登録も可能です。ホームページのアドレスは下記をお読みください。



郵便はがき 170-8765

〒6077 東京都豊島区東池袋3-13-2 住友不動産東池袋ビル

Laneed サポートセンター行

ユーザ登録カード

●氏名 姓 名

●会社名

●ご住所

●〒

●電話番号

●製品番号

※裏面のアンケートにご協力をお願いいたします。

番号を控えておきます。

品番

S/N

会社名、住所などを記入します。

※裏面のアンケートにもお答えください。
 ご意見は、今後の製品開発などに役立てていきます。

本製品に関して、ご質問がある場合は、ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3981-4147 FAX : 03-3981-2102

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)
 ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット(ラニード・ホームページ): <http://www.elecom-laneed.com>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
 ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京: 03-3940-6000 大阪: 06-6455-6000 名古屋: 052-453-6000
 福岡: 092-482-6000 札幌: 011-210-6000 仙台: 022-268-6000
 広島: 082-223-6000

本製品の特長や動作環境などを説明します。

本製品の特長

●32bitカードバス対応で100Mbps環境をフル活用

100Mbps環境のパフォーマンスをじゅうぶんに発揮できるのが本製品です。PCカードの新しい規格である32ビットカードバスに対応し、従来の100Mbps対応イーサネットPCカードの弱点であった16ビットカードのボトルネックを取り扱いました。

●Windows NT4.0でも使えるオリジナルドライバが付属

Windows NT4.0には、現在カードバス対応の標準ドライバが用意されていません。そのため、せっかくの32ビットカードバスがその力を発揮できずにいました。本製品は新しく開発したオリジナルドライバにカードバスコントローラのドライバ機能まで取り込みました。これにより、ノートタイプのコンピュータを使ったWindows NT4.0でも32ビットカードバス対応の100Mbps環境でネットワーク接続ができるようになりました。

●プラグ&プレイ、活線挿抜でセットアップが簡単

本製品はWindows 98/Windows 95のプラグ&プレイ機能に対応しています。システムが本製品を認識すると自動的にセットアップが開始され、画面に表示されるメッセージに従ってドライバのインストールやネットワークの設定をおこなうだけで、すぐに使用できるようになります。わずらわしいハードウェアレベルの設定を意識する必要はありません。

●Auto Negotiation対応だから出先の接続環境も気にならない

Auto Negotiation対応だから出先での接続環境も自動判断。10Mbps環境か100Mbps環境のどちらかを自動的に判断し、最適な状態でデータのやり取りができます。接続環境がよくかわるモバイルコンピュータにぴったりの機能です。これでモバイル環境がさらに快適になりました。

●Full Duplex対応で高速データ転送

Full Duplex(全二重モード)に対応。同じくFull Duplex対応のスイッチングHUBに接続すると、データの送信と受信を同時におこなうことができます。これにより、チャネルの帯域幅が倍に拡大され効率のよい伝送路を持ったネットワーク環境を実現することができます。

動作環境について

本製品の動作環境は次のとおりです。

対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、NEC PC-9800シリーズで32ビットカードバス対応のPCカードスロットを持つ機種 ※ノートパソコンの最新の対応情報は、11ページに記載されていますラニード・ホームページまたはFAX情報サービスでご確認いただけます。
対応OS	Windows 98, Windows 95 OSR2, Windows NT4.0

Windows 95のリビジョンの確認方法

ご使用中のOSがWindows 95の場合は、リビジョンを確認する必要があります。Windows 98の場合は、確認の必要はありません。カードバス搭載製品は、本来はすべてWindows 98またはWindows 95 OSR2がインストールされています。しかし、何らかの理由でWindows 95を再インストールしている場合、OSR2以前のリビジョンをインストールしている可能性もあります。このようなときは、次の手順でWindows 95のリビジョンを確認してください。

●リビジョンの確認

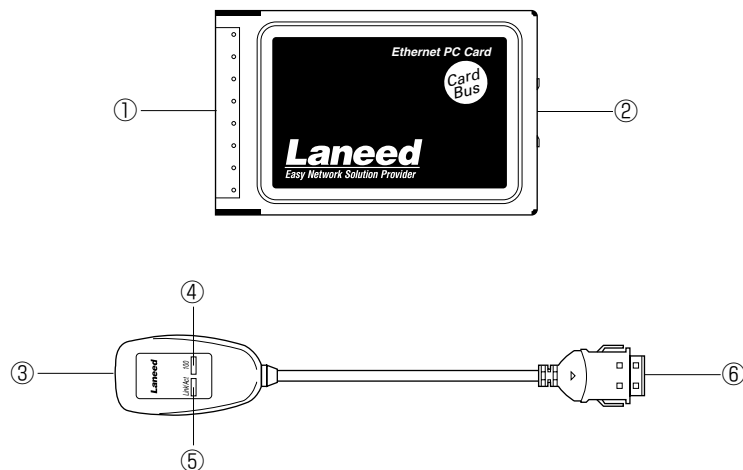
- ① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉画面で[システム]アイコンをダブルクリックします。
- ② 【情報】タブの[システム]のリビジョン表示を確認します。



4.00.950 Bまたは4.00.950 Cと表示されていれば、本製品は使用可能です。



4.00.950または4.00.950aと表示されている場合、本製品は使用できません。



①	68ピンコネクタ	コンピュータのカードバス対応のPCカードスロットへ差し込むコネクタです。コネクタを指で触れないように注意してください。
②	15ピンコネクタ	メディアカブラの15ピンコネクタ側と接続します。コネクタを指で触れないように注意してください。
③	RJ45 モジュラー ジャック (10BASE-T/100BASE-TX)	10BASE-Tまたは100BASE-TXのRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。
④	100 (LEDインジケータ)	100BASE-TX環境に接続しているときに緑色に点灯します。
⑤	Link/Act (LEDインジケータ)	リンクが確立されているときに緑色に点灯します。また、データを送受信しているときにも緑色に点灯します。データは断続的に送受信されますので、見かけ上は点滅しているように見えます。
⑥	15ピンコネクタ	イーサネットPCカード側の15ピンコネクタに差し込みます。

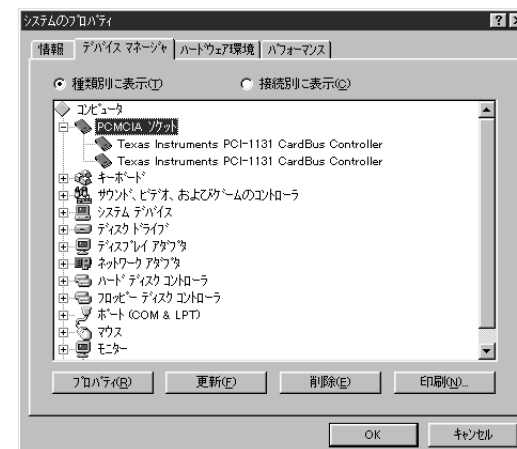
本製品は、カードバスに対応したイーサネットPCカードです。カードバス対応製品を使用するには、次のような注意が必要です。

Windows 98/95環境での注意と確認事項

●カードバスコントローラがセットアップされていることを確認してください
一部のコンピュータでは、工場出荷時のデフォルトの状態ではカードバスが使用できないものがあります。
下記の手順でカードバスコントローラがセットアップされているか確認してください。カードバスが設定されていなかったり、正常にデバイスが動作していないときは、本製品をお使いになる前に、パソコン本体のマニュアルをお読みになり、正しくセットアップしてください。

◆確認の方法

- ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉画面で[システム]アイコンをダブルクリックします。
- ②[PCMCIAソケット]をダブルクリックします。
- ③カードバスのコントローラ名が表示されます。



画面は例です。リストに表示される内容や表示されるカードバスのコントローラ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

- ④コントローラ名を選択した状態で、[プロパティ]をクリックします。
- ⑤[デバイスの状態]で「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。

●ドライバのインストールにフロッピーディスクドライブが必要です

本製品のドライバは付属のフロッピーディスクより供給されます。本製品のドライバをインストールするためには、フロッピーディスクドライブが必要になります。フロッピーディスクドライブがない場合は、赤外線通信などを利用して、コンピュータ本体のハードディスクにフォルダを作成し、付属ディスクの内容をコピーしておいてください。このマニュアルの説明では、ドライバディスクを使用する部分をインストールしたフォルダに置き換えてお読みください。

●Windows 98/95オペレーションディスクが必要です

インストール中にWindows 98またはWindows 95オペレーションシステムのCD-ROMまたはフロッピーディスクが必要になります。ただし、インストールモデルではハードディスク内に"cab"があれば、そのディレクトリからインストールすることが可能です。

●Windows 98/95でPCカードスロットがひとつしかない場合の注意点

PCカードによるCD-ROMドライブを使用している場合、インストール中にCD-ROMドライブが使用できません。Windows 98/95オペレーションシステムがCD-ROMの場合は、あらかじめ、Windows 98なら"win98"(NEC PC-9801/9821では、"win98n")ディレクトリの内容を、Windows 95なら"win95"ディレクトリの内容をすべてハードディスクにコピーしておいてください。(Windowsインストールモデルなど、ハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストールされている場合は、この作業は不要です。)

●パワーマネージメント機能について

パワーマネージメント機能を有効にしていると、PCカードスロットへの電源供給も停止されたため、本製品を使用することができません。必ずパワーマネージメント機能は無効(OFF)にしてください。パワーマネージメント機能の変更方法はコンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

●活線挿抜について

本製品は「活線挿抜」に対応しています。Windows 98/95環境で本製品を使用する場合は、コンピュータの電源をONした状態で本製品を抜き差しできます。ただし、取りはずすときに必要な操作がありますので、22ページ「取りはずしの方法」をお読みにし、正しい手順で取りはずしてください。

Windows NT4.0での注意と確認事項**●本製品が対応するカードコントローラチップは限定されます**

Windows NT4.0にはカードバスコントローラ用のドライバが添付されていないため、本来ならカードバスに対応しません。本製品ではドライバにカードバスコントローラをエミュレートさせる機能を含んだオリジナルドライバを添付しています。このドライバを使うことでWindows NT4.0においてもカードバスを利用することができるようになっています。最新の対応機種については、弊社ホームページまたはFAX情報サービスでご確認ください。ホームページアドレス等は11ページをお読みください。

●本製品を使用中は空きスロットがあっても使用できません

本製品を使用している間は、本製品のドライバがカードバスコントローラをコントロールしているためPCカードスロットに空きスロットがあっても認識されません。他のPCカード製品を使用するときは、本製品を取りはずした状態で使用してください。

●リソースの空き状況を事前にチェックしてください

本製品が使用するI/Oポートアドレス・IRQ・メモリアドレスを割り当てるため空き状況をセットアップ前に調べておく必要があります。空き状況を調べる方法は、このあとの「Windows NT4.0でのリソースの空き状況チェック方法」をお読みください。

●ドライバのインストールにフロッピーディスクドライブが必要です

本製品のドライバは付属のフロッピーディスクより供給されます。本製品のドライバをインストールするためには、フロッピーディスクドライブが必要になります。フロッピーディスクドライブがない場合は、赤外線通信などを利用して、コンピュータ本体のハードディスクにフォルダを作成し、付属ディスクの内容をコピーしておいてください。このマニュアルの説明では、ドライバディスクを使用する部分をインストールしたフォルダに置き換えてお読みください。

●PCカード経由でCD-ROMドライブを接続している場合の注意点

インストール中にWindows NT4.0ネットワークオペレーションシステムのCD-ROMを要求するメッセージが表示されることがあります。このとき、PCカード経由でCD-ROMドライブを接続している環境では、スロットに空きがなかったり、空きスロットがあってもセットアップ中にCD-ROMドライブが正常に認識されない可能性があります。このような場合は、本製品のセットアップを始める前に、Windows NT4.0ネットワークオペレーションシステムにある次のディレクトリの内容をすべてハードディスクにコピーしておいてください。インストール後は削除してもかまいません。

- ・ PC/AT互換機(DOS/V)およびNEC PC98-NXでは、"I386"ディレクトリの内容(約110Mバイト)すべて
- ・ NEC PC-9800(9821)シリーズでは、"PC98"ディレクトリの内容(約90Mバイト)すべて

●パワーマネージメント機能について

パワーマネージメント機能を有効にしていると、PCカードスロットへの電源供給も停止されたため、本製品を使用することができません。必ずパワーマネージメント機能は無効(OFF)にしてください。パワーマネージメント機能の変更方法はコンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

●活線挿抜について

Windows NT4.0は「活線挿抜」に対応していません。本製品の取り付け、取りはずしは、必ずコンピュータ本体の電源をOFFにした状態でおこなってください。

Windows NT4.0でのリソースの空き状況チェック方法

セットアップ中にハードウェアの設定でリソースを指定する画面が表示されます。このとき、本製品が使用するI/Oポートアドレス・IRQ・メモリアドレスを割り当てするため、現在の空き状況を調べておく必要があります。

◆確認の方法

①[スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[WindowsNT診断プログラム]を選択します。

②【リソース】タブをクリックし、【I/Oポート】をクリックします。

- ・【I/Oポートアドレス】の使用状況が一覧で表示されます。

③使用状況の一覧を見て、空き状態のアドレスをメモします。

アドレス	デバイス	バス	種類
0060 - 0060	i8042prt	0	ISA
0064 - 0064	i8042prt	0	ISA
01CE - 01CF	VgaSave	0	PCI
01F0 - 01F7	atapi	0	ISA
0224 - 022F	auddrive	0	ISA
02F8 - 02FE	Serial	0	ISA
0340 - 035E	Sparrow	0	ISA
0378 - 037A	Parport	0	ISA
0388 - 038B	auddrive	0	ISA
03B0 - 03BB	VgaSave	0	PCI
03C0 - 03CF	neo2Dx	0	PCI
03C0 - 03CF	VgaSave	0	PCI
03C4 - 03C5	FsVga	0	内部
03CE - 03CF	FsVga	0	内部
03D4 - 03D4	FsVga	0	内部

- ・ E000h,E400h,E800h,EC00h,D000h,D400h,D800h,DC00hを調べておいてください。

MEMO

現在の空きアドレスをチェックしてください。

- ☐E000h ☐E400h ☐E800h ☐EC00h
☐D000h ☐D400h ☐D800h ☐DC00h

④続いて、【IRQ】をクリックします。

- ・【IRQ】の使用状況が一覧で表示されます。

⑤使用状況の一覧を見て、空き番号をメモします。

IRQ	デバイス	バス	種類
01	i8042prt	0	ISA
04	Serial	0	ISA
05	auddrive	0	ISA
06	Floppy	0	ISA
09	Serial	0	ISA
11	Sparrow	0	ISA
12	i8042prt	0	ISA
14	atapi	0	ISA

MEMO

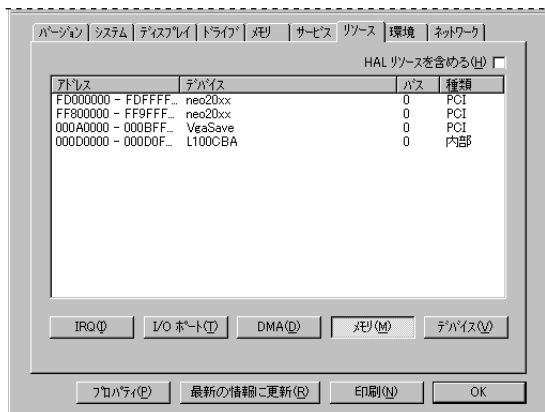
現在の空き番号を記入してください。

空き番号=

⑥続いて、【メモリ】をクリックします。

- ・【メモリアドレス】の使用状況が一覧で表示されます。

- ⑦使用状況の一覧を見て、使用中のアドレスまたは空き状態のアドレスをメモします。



MEMO 使用中の（または空き）メモリアドレスを記入してください。
メモリアドレス＝

- ⑧メモできれば、[Windows NT診断プログラム]を終了します。
・このメモはセットアップ中に使用します。

本製品をノートタイプのコンピュータに取り付ける方法とネットワークへ接続する方法を説明しています。イーサネットカードの挿入方法やイジェクト方法は、本体の機種によって異なりますので、お手持ちのコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルの該当ページを参考にしてください。

取り付けの方法



必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルも併せて読みながら、取り付けてください。

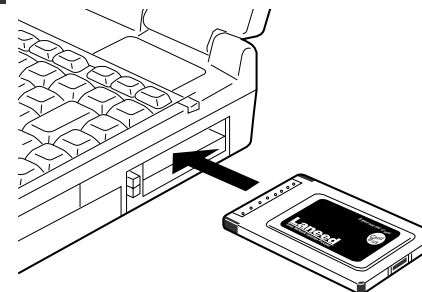


本製品の取り付けを始める前に、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

■ コンピュータ本体の電源がOFFになっていることを確認します。

本製品はWindows 98/95の「活線挿抜」に対応しています。Windows 98/95でコンピュータを使う場合は、コンピュータの電源をONにした状態で本製品を差し込むことができます。

- 1** コンピュータのPCカードスロットに、本製品の68ピンコネクタを差し込みます。

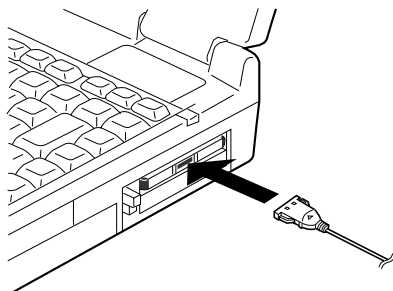


・うら・おもての向きを間違わないように注意してください。



カードを差し込むとき、向きを間違えると本製品のコネクタやコンピュータ側のコネクタを破損する恐れがあります。無理に差し込まないように注意してください。

- 2** 本製品とメディアカブラの15ピンコネクタどうしを接続します。メディアカブラは15ピンコネクタの▲がある面を上にして接続してください。



・ツメがロックされ本製品とメディアカブラが固定されます。

- 3** メディアカブラのRJ45モジュージャックにRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。
・プラグはカチッと音がするまで、しっかりとジャックに差し込んでください。

取りはずしの方法

コンピュータのPCカードから本製品をイジェクトする方法は、コンピュータ本体によって異なりますので、コンピュータ本体のマニュアルの「PCカードスロット」に関するページを参照してください。なお、Windows 98/95の活線挿抜により、コンピュータの電源を入れたまま、本製品を取りはずすときはPCMCIAソケットから切り離すための操作をおこなう必要があります。



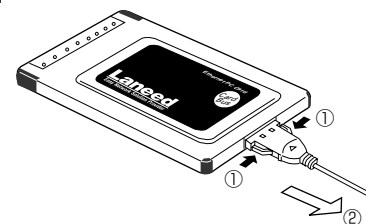
必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルを参照して取りはずしてください。



本製品を取りはずすときは、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし

- 1** メディアカブラからRJ45モジュラーケーブルのプラグを抜きます。
- 2** コンピュータ本体のマニュアルの説明に従って、PCカードスロットから本製品を取りはずしてください。
- 3** 本製品からメディアカブラをはずします。



・カブラ側のコネクタのツメを押しながら抜きます。

これで本製品の取りはずしは完了です。

コンピュータ本体の電源が入った状態での取りはずし (Windows 98/95の活線挿抜)

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉画面で[PCカード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。



・〈PCカード(PCMCIA)のプロパティ〉画面が表示されます。

- 2** "Laneed LD-10/100CBA Fast Ethernet PC Card..."を選択し、
 [終了] をクリックします。



・取りはずし可能のメッセージが表示されます。

- 3** [OK] をクリックします。



- 4** 本製品をPCカードスロットから取りはずします。

このあとは、23ページ「コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし」と同じ手順で取りはずしてください。

本製品はWindows 98のプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows 98を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

コンピュータ本体などの電源を入れて、Windows 98を起動します。

- 1** PCカードスロットに本製品を差し込みます。
 ・本製品の差し込み方法は、21ページ「取り付けの方法」をお読みください。
- 2** しばらくすると、新しいハードウェアを検出したことを知らせるメッセージが表示されます。
 ・そのまま、対応する新しいドライバを自動検出します。

- 3** 必要なドライバが表示されます。[次へ>] をクリックします。

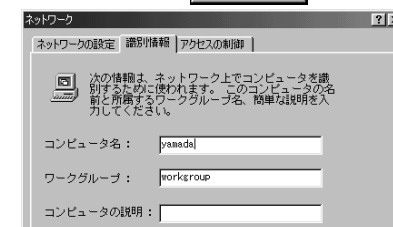


・検索方法を選択する画面が表示されます。

MEMO

コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたとき

- ①[コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。
- ②【識別情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。
 入力が終われば [OK] をクリックします。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選択し、**次へ>**をクリックします。



- ・ドライバの場所を選択する画面が表示されます。

5 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。

6 [検索場所の指定]を選択し、「A:¥win98」を指定します。指定が完了すれば**次へ>**をクリックします。



- ・ドライバを検索する画面が表示されます。

7 **次へ>**をクリックします。

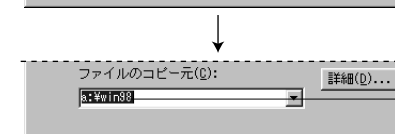


8-1 お使いの環境によっては、以下のような画面が表示されることがあります。



- ・すでにディスクを入れていますので**OK**をクリックします。
- ・〈ファイルのコピー〉画面が表示されます。

8-2 [ファイルのコピー元]を、フロッピーディスクドライブのドライブ名に変更し、「win98」ディレクトリを指定します。



フロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します。ドライブ名のあとに、「win98」ディレクトリを指定します。

- ・通常、フロッピーディスクドライブはPC/ATの場合はAドライブです。NEC PC-9800の場合は、ご使用の環境により変化します。
- ・ドライブ名のあとに、必ず「win98」ディレクトリを指定してください。

8-3 ドライブ名を変更したら **OK** をクリックします。

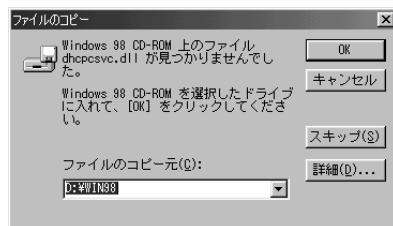
- ・ドライバのインストールが始まります。

MEMO

すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。この場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

9-1 お使いの環境によっては、Windows 98のCD-ROMを挿入するようにメッセージが表示されます。

- ・この場合は、Windows 98のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブに挿入し、**OK** をクリックします。
- ・〈ファイルのコピー〉画面が表示されます。

9-2 表示されているドライブ名とディレクトリ名を確認し、正しければ **OK** をクリックします。

- ・[ファイルのコピー元]がCD-ROMを入れたドライブと異なる場合は変更します。

MEMO

PC/AT互換機(DOS/V)の場合は、ドライブ名のあとに"win98"ディレクトリを指定してください。NEC PC-9801/9821の場合は、ドライブ名のあとに"win98n"ディレクトリを指定してください。

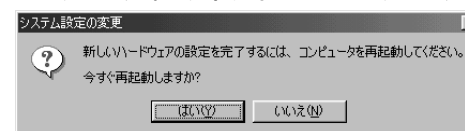
(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合(大文字でも可)

d:¥win98

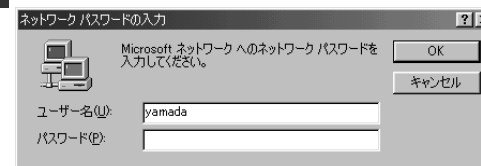
Windows 98インストールモデルで、出荷時のまま"WINDOWS¥OPTION¥CAB"ディレクトリの内容を削除していないときは、このディレクトリから必要なファイルをコピーできます。

10 ドライバのコピーが終了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。

- ・**完了** をクリックします。

11 再起動を促すメッセージが表示されます。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出します。

- ・**はい(Y)** をクリックします。

12 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。

- ・[ユーザー名]は必ず入力します。
- ・必要であれば、[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、Windows 98への本製品の導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。

35ページからWindows 98/95のピア・ツー・ピアでの設定例を説明しています。参考にしてください。

Windows 95でのセットアップ方法について説明します。

ドライバをインストールする

コンピュータ本体の電源を入れて、Windows 95を起動します。

- 1 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属するフロッピーディスクを入れます。
- 2 PCカードスロットに本製品を差し込みます。
・本製品の差し込み方法は21ページ「取り付けの方法」をお読みください。

- 3 しばらくすると新しいハードウェアを検出したことを知らせるメッセージが表示されます。をクリックします。



- 4 見つかったドライバ名として"Lanecd LD-10/100CBA Fast Ethernet PC Card"と表示されていれば、をクリックします。

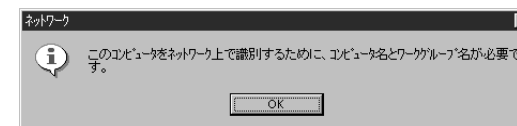


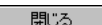
・〈ディスク挿入〉のメッセージが表示されます。

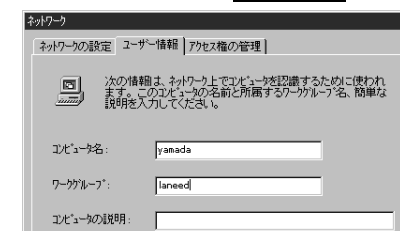
MEMO

インストール中のコンピュータで初めてネットワークの導入をしたとき

- ① [コンピュータ名]などの入力を促すメッセージが表示されますので、をクリックします。



- ② 【ユーザー情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終わればをクリックします。



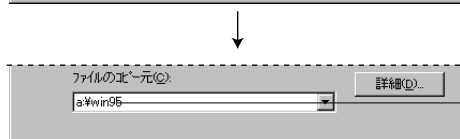
コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

- 5 〈ディスク挿入〉のメッセージが表示されたら、すでにディスクは入っているのをクリックします。



・〈ファイルのコピー〉画面が表示されます。

6-1 「ファイルのコピー元」をフロッピーディスクドライブのドライブ名に変更し、「win95」ディレクトリを指定します。



フロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します。ドライブ名のあとに「win95」ディレクトリを指定します。

- ・ 通常、フロッピーディスクドライブはPC/ATの場合はAドライブです。NEC PC-9800の場合は、ご使用の環境により変化します。
- ・ ドライブ名のあとに、必ず「win95」ディレクトリを指定してください。

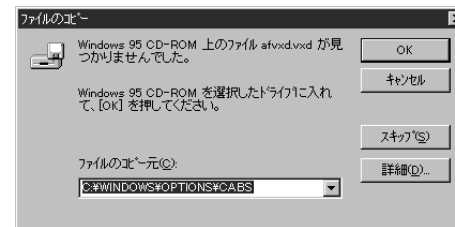
6-2 ドライブ名を変更したら **OK** をクリックします。

7-1 お使いの環境によって、Windows 95のディスクを挿入するようにメッセージが表示されることがあります。



- ・ この場合は、Windows 95のCD-ROMまたはフロッピーをドライブに挿入し、**OK** をクリックします。
- ・ <ファイルのコピー> 画面が表示されます。

7-2 「ファイルのコピー元」でドライブ名とディレクトリ名が正しければ、**OK** をクリックします。



- ・ ディスクを挿入したドライブ名およびディレクトリ名が異なる場合は、直接ドライブ名とディレクトリ名を入力するなどして変更してください。変更後、**OK** をクリックします。

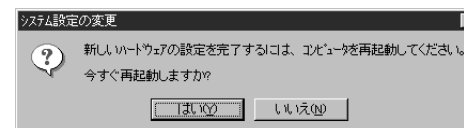
MEMO CD-ROMの場合はドライブ名のあとに「win95」ディレクトリを指定します。
(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合(大文字でも可)

d:\>win95

Windows 95インストールモデルで、出荷時のまま「WINDOWS\OPTION\CAB」ディレクトリの内容を削除していないときは、このディレクトリから必要なファイルをコピーできます。

注意 ファイルによってはすでにインストール先に最新のファイルが存在する場合があります。同名ファイルが見つかったときは、最新のファイルを使用してください。

8 ドライバのコピーが終了すると、再起動しますかというメッセージが表示されます。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出します。



- ・ **はい (Y)** をクリックします。

9 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。



- ・ [ユーザー名]は必ず入力します。
- ・ 必要であれば、[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、本製品への導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワーク設定を追加および変更してください。

次のページからWindows 98/95のピア・ツー・ピアでの設定例を説明しています。参考にしてください。

ここでは、Windows 98およびWindows 95のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。なお、画面例はWindows 98を使用しています。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉画面で[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

- ・ 〈ネットワーク〉画面が表示されます。

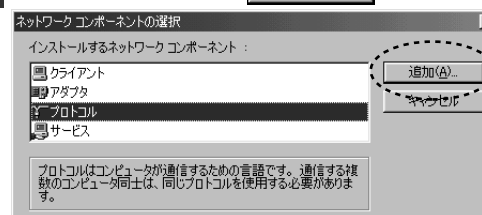
2 [ネットワークの設定] タブにある [追加(A)...] をクリックします。



※ここに登録されているコンポーネントの種類はご使用の環境によって異なります。左の画面は画面例です。

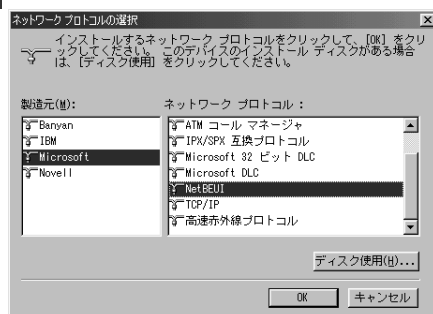
- ・ 〈ネットワーク構成ファイルの追加〉画面が表示されます。

3 [プロトコル]を選択し、 [追加(A)...] をクリックします。



プロトコルを選択してクリック

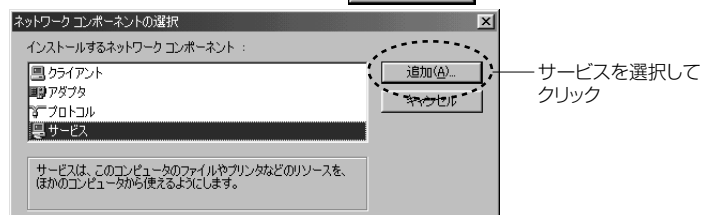
- ・ 〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。

4 NetBEUIを選択します。

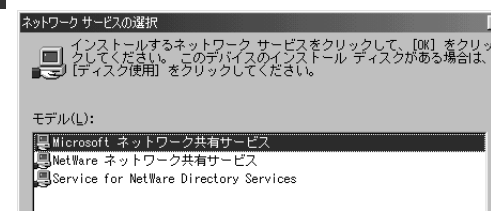
- ・ [製造元]で"Microsoft"をクリックします。プロトコルが表示されます。
- ・ "NetBEUI"を選択します。
- ・ 続いて **OK** をクリックします。

5 プロトコルが追加されました。確認してください。

- ・ [現在のネットワークコンポーネント(構成)]に"NetBEUI"が追加されます。

6 <ネットワーク> 画面の【ネットワークの設定】タブで **追加(A)...** をクリックします。次に[サービス]を選択し、 **追加(A)...** をクリックします。

- ・ <ネットワークサービスの選択> 画面が表示されます。

7 サービスの内容を選択します。

- ・ Windows 95では、まず[製造元]で"Microsoft"を選択します。[ネットワークサービス]の内容が表示されます。
- ・ "Microsoftネットワーク共有サービス"を選択します。
- ・ 続いて **OK** をクリックします。

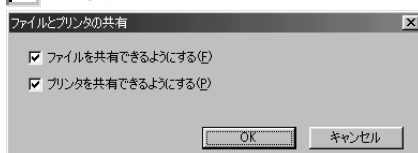
8 サービスが追加されました。確認してください。

- ・ [現在のネットワーク構成]に"Microsoftネットワーク共有サービス"が追加されています。

9 次に[ファイルとプリンタの共有]をクリックします。

- ・ <ファイルとプリンタの共有> 画面が表示されます。

- 10** "ファイルを共有..." "プリンタを共有..."のチェックボックスを、両方ともチェック



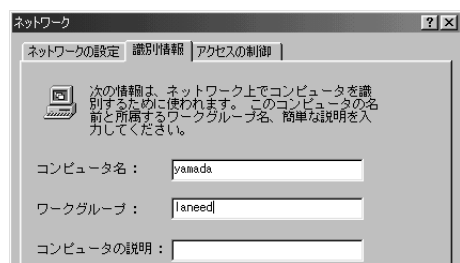
- ・ **OK** をクリックします。

- 11** 【識別情報】タブ (Windows 95では【ユーザー情報】タブ) をクリックします。



- ・ <識別情報(ユーザー情報)> 画面が表示されます。

- 12** 内容を確認し、変更が必要な場合は[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力します。



- ・ 項目の意味については、31ページを参照してください。
- ・ **OK** をクリックします。

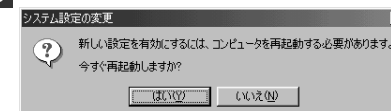
- ディスク挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。



- ・ Windows 98では"Windows 98 CD-ROM"を挿入します。
- ・ Windows 95では"Windows 95 CD-ROM"またはフロッピーディスクのいずれかのディスクを挿入します。
- ・ **OK** をクリックします。

- MEMO** ディスクを挿入したドライブを指定する画面が表示されたときは、28ページの**9.2**を参考に指定します。Windows 98では"win98"ディレクトリを指定してください。(NEC PC-9801/9821では"win98n"ディレクトリを指定)

- 13** 再起動するかメッセージが表示されます。



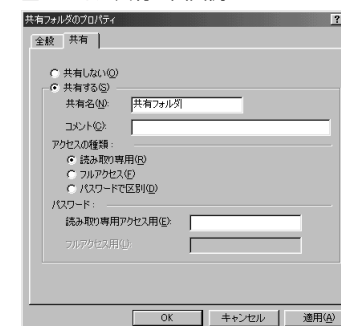
- ・ **はい** をクリックします。

- 再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

- MEMO** ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定をおこなってください。

- ①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックで選択し、メニューを表示します。
- ②メニューから[共有]を選択し、必要な事項を設定します。

■ファイル共有の画面例



すでにWindows NT4.0がインストールされた状態で、本製品をセットアップする方法を説明しています。お使いになるコンピュータのシステムにネットワーク設定が存在するかないかでセットアップの流れが異なりますので、説明と表示される画面に注意しながらセットアップしてください。

注 意

Windows NT4.0のインストールと同時にセットアップするとき

Windows NT4.0はインストール中にネットワークアダプタの設定が可能です。Windows NT4.0オペレーションシステムのマニュアルを参照しながら、このマニュアルの41ページ手順**5**～**10**を参考にインストールしてください。ドライバの選択では、"Laneed LD-10/100CBA Fast Ethernet PC Card"を選択してください。ネットワーク設定に必要なプロトコル、サービスなどはネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

コンピュータ本体の電源を入れる前に、PCカードスロットに本製品を取り付けておきます。

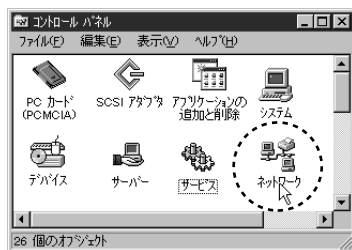
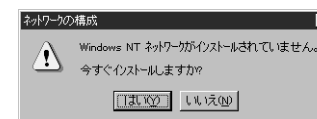
・本製品の取り付け方法は、21ページ「取り付けの方法」をお読みください。

1 コンピュータ本体の電源を入れて、Windows NT4.0を起動します。

・Windows NT4.0へのログオン画面が表示されます。

2 "Administrator"でログオンします。

・Windows NT4.0が起動します。

3 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉画面で[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。**4** 既存の環境によって画面AまたはBが表示されます。**画面A****画面Aのとき**

⇒ このあとの手順**5**へ
進んでください。

画面Bのとき

⇒ このあとの**MEMO**を読んで
から42ページの手順**8**へ進
んでください。

画面B**MEMO**

【アダプタ】タブを選択し、**追加(A)...** をクリックします。



・〈ネットワークアダプタの選択〉画面が表示されます。
・42ページの手順**8**へ進んでください。

5 そのシステムにはじめてネットワークを導入するときこの画面が表示されます。

・**はい (Y)** をクリックします。

6 [ネットワークに接続]をチェックし、**次へ(N) >** をクリックします。



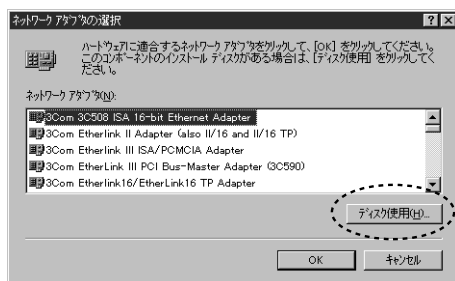
・アダプタの選択画面が表示されます。

7 **一覧から選択(S)...** をクリックします。



・〈ネットワークアダプタの選択〉画面が表示されます。

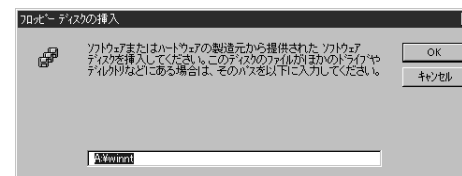
8 **ディスク使用(D)...** をクリックします。



・〈フロッピーディスクの挿入〉画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブに本製品に付属のドライバディスクを挿入します。

10 フロッピーディスクドライブのドライブ名を確認します。「winnt」ディレクトリを指定し、**OK** をクリックします。



・表示されているドライブ名がフロッピーディスクドライブと異なる場合は変更します。
・〈OEMオプションの選択〉画面が表示されます。

11 "Lanecd LD-10/100CBA Fast Ethernet PC Card"を選択し、**OK** をクリックします。



・はじめてネットワークを導入しているときはアダプタの選択画面に戻ります。

すでに一度ネットワークが設定されているとI/O Portなどを設定する詳細設定の画面が表示されます。その場合は、50ページ「ネットワークが設定されているときの手順」へ進んでください。

12 [ネットワークアダプタ]に、"Lanecd LD-10/100CBA Fast Ethernet PC Card"が表示され、☒ チェックされていれば、**次へ(N) >** をクリックします。



・ネットワークプロトコルを選択する画面が表示されます。

- 13** [ネットワークプロトコル]で、ネットワークで使用するプロトコルをチェックします。チェックが終われば、**次へ(N) >** をクリックします。



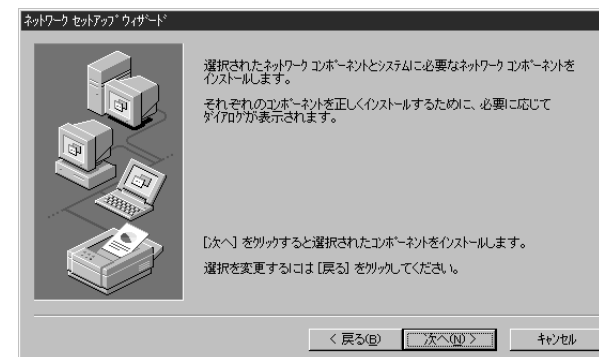
- ・どのプロトコルを使用するかは、ご使用になるネットワーク環境に合わせて選択してください。
- ・ネットワークサービスを選択する画面が表示されます。

- 14** [ネットワークサービス]で、ネットワークで使用するサービスをチェックします。チェックが終われば、**次へ(N) >** をクリックします。



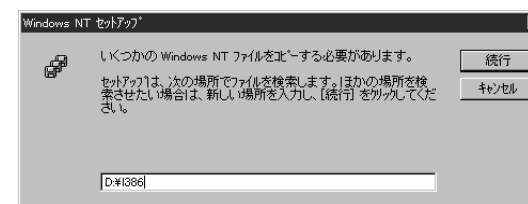
- ・どのサービスを使用するかは、ご使用になるネットワーク環境に合わせて選択してください。

- 15** プロトコルおよびサービスのインストールを確認する画面が表示されます。**次へ(N) >** をクリックします。



- ・インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。

- 16** Windows NT4.0のネットワークオペレーションディスクのドライブ名とディレクトリ名を指定します。

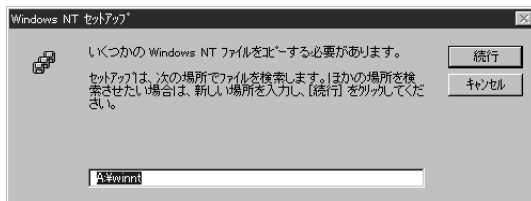


- ・PC/AT互換機およびNEC PC98-NXはWindows NT4.0のネットワークオペレーションディスクで"I386"を指定します。
- ・NEC PC-9800(PC-9821)の場合は、"PC98"ディレクトリを指定します。
- ・CD-ROMからインストールするときは、Windows NT4.0のディスクをドライブに入れます。

- 17** 指定が終われば、**続行** をクリックします。

- ・もう一度、インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。

- 18** 今度は、フロッピーディスクドライブに変更します。「winnt」ディレクトリを指定し、**続行** をクリックします。

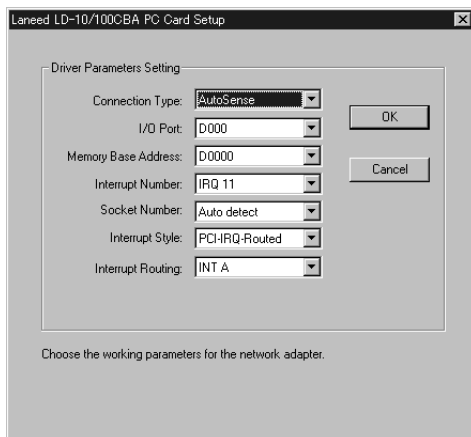


・ 詳細設定の画面が表示されます。

- 19** 必要に応じて設定内容を変更します。[I/O Port]などは必ず事前に調べた空き領域を割り当ててください。

●表示の方法

- ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉画面で[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ② 〈ネットワーク〉画面の【アダプタ】タブで"Laneed LD-10/100CBA Series Fast Ethernet PC Card"を選択し、[プロパティ]をクリックします。〈詳細設定〉の画面が表示されます。



●Connection Type

伝送速度およびFull Duplex(全二重)/Half Duplex(半二重)の設定をおこないません。通常はAutoSense（自動設定）のまま変更する必要はありません。

AutoSense	接続環境を自動判別し、最適状態に設定します。
100M Half Duplex	100BASE-TXのHalf Duplexに固定です。
100M Full Duplex	100BASE-TXのFull Duplexに固定です。
10M Half Duplex	10BASE-TのHalf Duplexに固定です。
10M Full Duplex	10BASE-TのFull Duplexに固定です。

●I/O Port、Memory Base Address、Interrupt Number

事前に調べておいた(➡P18)空きアドレスやIRQを割り当てます。

●Socket Number

PCカードスロットのソケット番号を指定します。通常はAuto detect（自動設定）のまま変更する必要はありません。

Auto detect	接続されたスロットを自動判別します。
Socket#0	ソケット1固定です。
Socket#1	ソケット2固定です。

●Interrupt Style

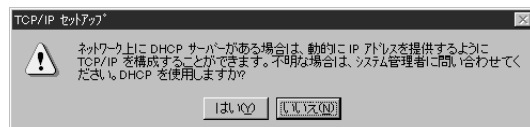
IRQを使用するバス仕様を選択します。本製品では必ず「PCI-IRQ-Routed」を指定します。変更すると本製品を使用できません。

●Interrupt Routing

本製品を2枚同時使用する場合に、変更が必要なことがあります。通常は「INT A」のまま変更しないでください。

- 20** 設定が終われば、**OK** をクリックします。

プロトコルでTCP/IPを選択した場合は、DHCPを使用するかを選択する画面が表示されます。



- ・ご利用になるネットワーク環境に合わせて、**はい (Y)** または **いいえ (N)** をクリックします。
- ・バインド等を変更するための画面が表示されます。

21 必要に応じて内容を変更します。よろしければ **次へ (N) >** をクリックします。



- ・ネットワークの導入が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

22 **次へ (N) >** をクリックします。



- ・ワークグループ名などを設定する画面が表示されます。

23 必要に応じて入力し、**次へ (N) >** をクリックします。



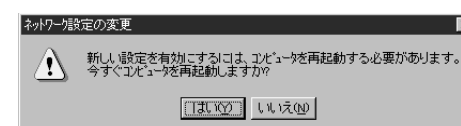
- ・インストール完了のメッセージが表示されます。

24 **完了** をクリックします。



- ・再起動のメッセージが表示されます。

25 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、**はい (Y)** をクリックします。



- ・Windows NT4.0が再起動します。

これで、本製品のWindows NT4.0への導入は完了です。

ネットワークが設定されている時の手順

すでにネットワークが設定されている環境へ本製品のドライバをインストールしたときは、43ページ手順**11**の後、以下の手順にしたがってください。

43ページの手順**11**の〈OEMオプションの選択〉画面で、"Laneed LD-10/100CBA Fast Ethernet PC Card"を選択し、**OK**をクリックすると、ドライバの詳細設定画面が表示されます。

- 12** 必要に応じて設定内容を変更します。設定が終われば、**OK**をクリックします。[I/O Port]などは必ず事前に調べた(⇒P18)空き領域を割り当ててください。



※項目の内容については、46ページの手順**19**を参照してください。

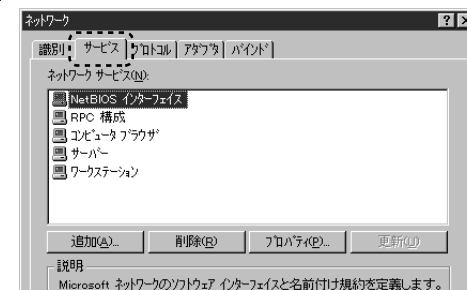
・〈ネットワーク〉画面に戻ります。

- 13** [ネットワークアダプタ]に"Laneed LD-10/100CBA Fast Ethernet PC Card"と表示されていれば、ドライバのインストールは完了です。

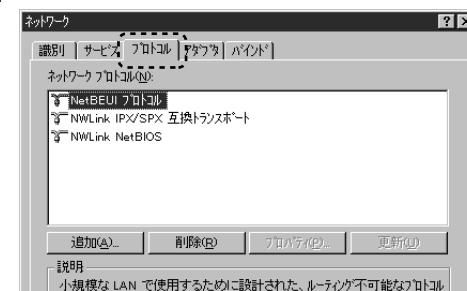


続いて、必要なネットワーク環境の設定をおこないます。このあとは、設定の流れを説明します。実際の構成に合わせて設定してください。

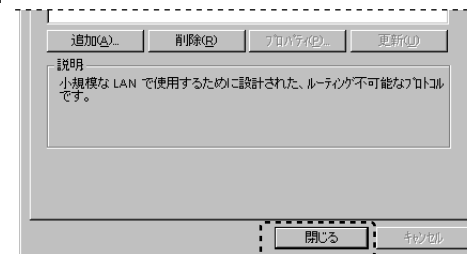
- 14** 【サービス】タブをクリックして、必要なサービスを追加します。



- 15** 【プロトコル】タブをクリックして、必要なサービスを追加します。



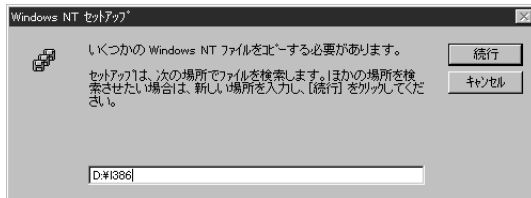
- 16** すべての設定が終われば、〈ネットワーク〉画面の**閉じる**をクリックします。



・ファイルのコピーが始まります。

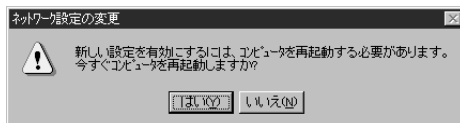
Windows NT4.0のオペレーションシステムのCD-ROMを要求された場合、PC/AT互換機およびNEC PC98-NXのときは、Windows NT4.0の"1386"ディレクトリを指定し、**続行** をクリックします。

NEC PC-9800(PC-9821)のときは"PC98"ディレクトリを指定します。



- ・ハードディスクにインストールしているときは、インストール先のドライブ、ディレクトリ名を指定してください。

17 ファイルのコピーのあと、再起動のメッセージが表示されます。



- ・フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、**はい (Y)** をクリックします。
- ・Windows NT4.0が再起動し、設定した内容が有効になります。

これで、Windows NT4.0へのセットアップは終わりです。



アダプタのプロパティについて

Windows 98、Windows 95およびWindows NT4.0におけるアダプタのプロパティについて説明します。

Windows 98/95の場合

●表示の方法

- ① <コントロールパネル> 画面で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ② <ネットワーク>画面の【ネットワークの設定】タブで"Lanecd LD-10/10CBA Fast Ethernet PC Card"を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ 【詳細設定】タブを選択すると、設定画面が表示されます。

■ <詳細設定> 画面



[プロパティ]の項目を選択すると、右側の内容が項目に合わせて切り替わります。

●Early Tx Threshold

スループットを調整します。1ユニットは32バイトです。表示されている値はユニット数です。値を小さくすることでネットワーク性能を向上することができます。通常は、初期値のままで変更する必要はありません。

●Link Speed/Duplex Mode

Auto Mode	接続環境を自動的に判別し、最適な状態に設定します。
10 Full Mode	10BASE-TのHalf Duplexに固定です。
10 Half Mode	10BASE-TのFull Duplexに固定です。
100 Full Mode	100BASE-TXのFull Duplexに固定です。
100 Half Mode	100BASE-TXのHalf Duplexに固定です。

●Network Address

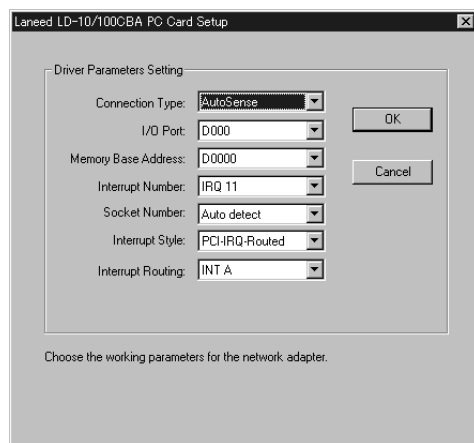
本製品を2枚以上お使いになる場合などに、本製品のMACアドレスを入力します。1枚の場合は、「なし」を選択します。MACアドレスは本製品の基板上に貼られたシールに記載されている16進法の数字です。

MACアドレスのシール 004005 40C557 この数値は一例です。

Windows NT 4.0の場合

●表示の方法

- ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉画面で[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ②〈ネットワーク〉画面の【アダプタ】タブで"Lanpeed LD-10/100CBA Series Fast Ethernet PC Card"を選択し、[プロパティ]をクリックします。〈詳細設定〉の画面が表示されます。



●Connection Type

伝送速度およびFull Duplex(全二重)/Half Duplex(半二重)の設定をおこないます。通常はAutoSense（自動設定）のまま変更する必要はありません。

AutoSense	接続環境を自動判別し、最適な状態に設定します。
100M Half Duplex	100BASE-TXのHalf Duplexに固定です。
100M Full Duplex	100BASE-TXのFull Duplexに固定です。
10M Half Duplex	10BASE-TのHalf Duplexに固定です。
10M Full Duplex	10BASE-TのFull Duplexに固定です。

●I/O Port、Memory Base Address、Interrupt Number

事前に調べておいた(⇒P18)空きアドレスやIRQを割り当てます。

●Socket Number

PCカードスロットのソケット番号を指定します。通常はAuto detect（自動設定）のまま変更する必要はありません。

Auto detect	接続されたスロットを自動判別します。
Socket#0	ソケット1固定です。
Socket#1	ソケット2固定です。

●Interrupt Style

IRQを使用するバス仕様を選択します。本製品では必ず「PCI-IRQ-Routed」を指定します。変更すると本製品を使用できません。

●Interrupt Routing

本製品を2枚同時使用する場合に、変更が必要なことがあります。通常は「INT A」のまま変更しないでください。

共通のトラブル

●本製品が正常に動作しない。

- ① ドライバを正しくインストールしましたか。各環境でのトラブル項目もお読みください。
- ② パワーマネジメント機能を有効にしていますか。有効にしているとPCカードスロットへの電源供給が止まります。
- ③ 本製品をPCカードスロットの奥までしっかりと差し込んでいますか。コンピュータ本体のマニュアルを読んで、本製品をPCカードスロットに確実に差し込んでください。

●本製品は正常に動作しているが、ネットワークが見えない。

本製品のカブラに接続されたケーブルはネットワークに接続されていますか。ケーブルとカブラ、カブラと本製品のコネクタがしっかりと接続されていますか。カブラのLink/Act LEDインジケータを見てリンクが確立されているかを確認してください。

Windows 98/95環境でのトラブル

●本製品を差し込んで、新しいハードウェアが検出されない。

- ① カードバスコントローラが使用できない状態になっている可能性があります。次のことを確認してください。
 - a. カードバスコントローラは正常に動作していますか。15ページを参照して確認してください。
 - b. Windows 95の場合、リビジョンはOSR2になっていますか。13ページを参照して確認してください。
 - c. コンピュータ本体のBIOS設定でカードバスが使用不可になっていませんか。コンピュータ本体のマニュアルを読んで確認してください。
- ② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると【その他のデバイス】に「PCI Ethernet Controller」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、【デバイスマネージャ】から「PCI Ethernet Controller」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、Windows 98では25ページ、Windows 95では30ページを読んでセットアップをやり直してください。

●PCカードスロットがひとつしかないため、CD-ROMドライブが使えない。

セットアップを始める前に、Windows 98/95システムソフトウェアのCD-ROMにある「win98」(または「win95」)ディレクトリの内容をすべてハードディスクにコピーしておきます。セットアップ中にWindowsのCD-ROMを要求されたら、CD-ROMの代わりにハードディスク内の「win98」(または「win95」)ディレクトリを指定してください。

※PC-9801/9821では、Windows 98の場合「win98n」ディレクトリを指定してください。

- [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると【その他のデバイス】に「PCI Ethernet Controller」として登録されている。または、【コントロールパネル】の【PCカード】においても同様に表示される。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】より上記のデバイスを一度削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、Windows 98では25ページ、Windows 95では30ページを読んでセットアップをやり直してください。

- 起動画面にて「Laneed LD-10/100CBA? ...00xが正常に動作していない。」というようなエラーメッセージが表示される。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると【その他のデバイス】に「PCI Ethernet Controller」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、【デバイスマネージャ】から「PCI Ethernet Controller」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、Windows 98では25ページ、Windows 95では30ページを読んでセットアップをやり直してください。

- ドライバのインストール時に、ファイルのコピーが正しくおこなえなかった。

一度、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブで【PCMCIAソケット】にある「Laneed LD-10/100CBA...」ドライバを削除して、再起動後に新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、Windows 98では25ページ、Windows 95では30ページを読んでセットアップをやり直してください。

- ドライバは正常に動作しているが、ネットワークが見えない、使えない。

ケーブルが正しく接続されていないなどハードウェア的なトラブルはありませんか。また、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]でプロトコル、サービスなどが正しく設定されているかチェックしてください。ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境によって異なります。設定すべき内容がわからない場合は、ご使用になるネットワークのシステム管理者にお尋ねください。

Windows NT環境でのトラブル

- ドライバをインストールしたが、「イベントビューア」でエラーになっている。

- ① 本体の設定がカードバスを使用できるようになっていますか。ご使用の本体によっては、BIOS等で設定しなければならないものもあります。
- ② 本製品をWindows NT4.0で使用する場合、対応するカードコントローラチップが限定されています。本製品が対応するコンピュータであるかを確認してください。対応機種については、弊社ホームページまたはFAX情報サービスで最新の情報をお届けしています。
- ③ IRQおよびI/Oポートアドレスなどが競合していませんか。18ページを参照して、I/Oポートアドレス、IRQなどの状況を調べてください。各設定は手動での設定になっていますので競合がないかよく確認してください。設定の変更はプロパティでおこなえます。54ページを参照してください。

- 本製品を使用するともうひとつのスロットのPCカードが使えない。

本製品は、カードバスに対応していないWindows NT4.0上で動作させるために専用ドライバを使用しています。このためPCカードスロットはカードバスとしてエミュレートされ従来のPCカードが使えなくなります。PCカードを使うには、コンピュータの電源を切ったあと、本製品を取り出し、16BitバスのPCカードを挿入してから起動してください。PCカードが使用できるようになります。

- システム起動時にエラーが発生し、「イベントビューア」で確認するとデバイスの競合が確認された。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の【ネットワーク】で、本製品のプロパティを開き、他のデバイスと競合しないようにリソースの設定を変更してください。

ドライバディスク内容一覧

本製品に付属するドライバディスクの内容を一覧で説明します。

■付属ディスクの内容

(出荷時期により多少内容が異なることがあります)

 WIN98	Windows 98用ドライバおよび インストールテキストマニュアル
 WIN95	Windows 95用ドライバおよび インストールテキストマニュアル
 WinNT	Windows NT4.0用ドライバおよび インストールテキストマニュアル

●ルートディレクトリにあるファイル一覧

 Readme.txt	各種情報を記載したReadmeファイル ※必ずはじめにお読みください。
--	--

サポートサービスについて

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。また、FAX情報によるサービス、ネット上によるオンラインサービスも提供しています。なお、サポートセンターでサービスを受けるために、あらかじめ本製品に添付されているユーザ登録はがきをご投函くださいますようお願いいたします。修理品の送り先については、10ページをご覧ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3981-4147 FAX : 03-3981-2102

受付時間： 月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット(ラニードホームページ)

<http://www.elecom-laneed.com>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000	大阪：06-6455-6000
名古屋：052-453-6000	福岡：092-482-6000
札幌：011-210-6000	仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000	

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの56ページ 付録1「こんなときは」をお読みになりましたか。
まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:

使用しているOS:

使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):

ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:

ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象について

具体的な現象:

事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

商品名	32bitカードバス対応 10/100Mbps イーサネットPCカード
製品型番	LD-10/100CBA
メディアタイプ	10BASE-T/100BASE-TX
伝送速度	10Mbps/20Mbps(フルデュプレックス時)、 100Mbps/200Mbps(フルデュプレックス時)
ケーブル規格	IEEE802.3/IEEE802.3u
対応バス	32ビットカードバス
割り込みレベル	自動設定(Windows NT4.0では手動設定)
I/Oポートアドレス	自動設定(Windows NT4.0では手動設定)
LED	付属のメディアカブラによる表示 100(緑:伝送速度の表示、100Mbps環境で点灯) Link/Act(緑:リンクの確立、データの送受信)
適合規格	FCC Part 15 Class B, CEマーキング, VCCI第二種情報処理装置基準
消費電力	3.3V 1.16W(最大)
動作温度	動作時:0～55℃ 保管時:-20～65℃
動作湿度	10～90%(結露なきこと)
対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、 NEC PC-9800シリーズでPCカードスロット(32ビットカードバス)を持つ機種
対応OS	Windows 98, Windows 95 OSR2, Windows NT4.0
付属品	メディアカブラ、ドライバディスク(1枚)、ユーザズマニュアル、 ユーザ登録カード、保証書

32bitカードバス対応イーサネットPCカード

LD-10/100CBA

ユーザズマニュアル

発行 エレコム株式会社

1999年11月1日 第1版

LD-10/100CBA

Laneed
ELECOM